

旧大久保特別出張所跡地を活用した

認知症高齢者グループホーム・高齢者地域交流スペースの整備について

新宿区では、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる「地域包括ケア」の更なる推進に向けて、旧大久保特別出張所の跡地を活用し、認知症高齢者グループホームの整備を進めます。また、認知症高齢者グループホームに併設する地域交流スペースを活用し、ことぶき館の代替機能として、地域の高齢者を対象とした「いきがづくり、地域での仲間づくりの場」の確保に加え、「介護予防に取り組む場」の確保を進めます。

整備は民設民営方式により行い、認知症高齢者グループホームと高齢者地域交流スペースを一体的に整備・運営できる事業者を公募します。

スケジュール（予定）

平成27年12月～平成28年7月 事業者公募・選定

- ① 27年12月 公募開始
- ② 28年1月 応募申込書受付
- ③ 28年2月～3月 応募者財務審査
- ④ 28年2月～3月 事業計画書受付
- ⑤ 28年4月～7月 選定審査会、事業者決定

平成28年6月～12月 解体工事

平成29年3月～平成30年3月 建設工事

平成30年4月～5月 開設準備

平成30年6月 開設

【補正予算額】 2,188千円（事業者選定に係る財務審査等）

施設概要（イメージ図）

- 認知症高齢者グループホーム（2ユニット、定員18人以内）
- 高齢者地域交流スペース（100㎡程度）

所在地：新宿区大久保1-10-8 敷地面積：415.90㎡

高齢化の進展に伴う要介護者等に対応し、地域の高齢者が集える場をつくるため、旧大久保特別出張所跡地を活用して、民設民営方式により施設の一体整備を行います。
また、事業運営にあたっては、介護が必要な方から元気な高齢者まで幅広く利用できる施設として、地域の高齢者福祉の向上に総合的に取り組んでいきます。

